

教科名	工業	科目名	インテリア装備		
科目の目標	建築のインテリア装備に関するに知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。				
履修学年	3学年	学科・コース	工業科		
単位数	2単位	授業形態	一斉授業（選択）		
教科書	インテリア装備(電機大)	副教材等			
1 学習の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・インテリアは、建物の快適な室内環境を作り出すための重要な要素であること、そして、人間の働きが生産活動に影響することを踏まえ総合的な視野でインテリアを計画する必要があることを理解します。 ・近代以降の社会的な発展が建築に与えた影響を知り、インテリア装備を計画し施工するための基礎的な内容を理解に努めます。 ・技術者として、生産活動を向上させる知識・技術・技能を習得すること目標とします。 					
2 学習内容と進め方					
<ul style="list-style-type: none"> ・インテリアの施工法については、建築の構造で重要な事項を学習し、各構造体を通して理解を深めます。 ・インテリア材料については、身近な材料を通して教材も交え理解を深めます。 ・維持保全とリフォームについては、目的と方法を理解し、住宅のリフォームについて学習します。 ・インテリア装備を日常生活に関連づけて学習していきます。 ・教科書の説明と学習課題により授業を進めます。 					
3 学習の留意点					
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は携帯電話の電源は切って集中する状況としてください。 ・机の上には「以下テリア装備」の学習に無関係のものは出さないでください。 ・定規または三角定規は常に携帯してください。 					
4 評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査において、「知識・理解」「思考・判断・表現」を中心として学習の定着度を評価します。 ・「関心・意欲・態度」については、インテリア装備について興味を持ち、学習態度を中心に評価します。 ・「技能」については、定期考査後に集めるノートや授業の中で使うプリントなどの整理を中心に評価します。 					
5 授業計画					
月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	
4	1章 建築の構造	オリエンテーション	【知】 ・インテリア装備を計画し施工するための建築構造について理解しているか。 ・建築を構成するさまざまな構造を理解しているか。 ・それぞれ構造体に適した材料を理解しているか。 【思】 ・構造に必要な材料を示すことができるか。 ・各構造体の特徴を説明できるか。		
5		1 概要 2 木工造 3 鉄骨構造 4 鉄筋コンクリート構造 5 その他の構造と構法			
6		2章 インテリア施工法			1 施工の概要 2 床の下地と仕上げ 3 壁の下地と仕上げ 4 造作 5 天井の下地と仕上げ
7					【知】 ・各構造体に応じた室内の仕上げ方法について、躯体・下地・仕上げの相互の関連を具体的に理解できているか。 【思】 ・各構造体のインテリア材料を表示できるか。 ・各構造体の特徴を説明できるか。
				期末考査 この単元を自己評価してみよう A B C	

8		6 開口部		
9		7 階段		
		8 施工管理		
10	3章 インテリア材料	1 インテリア材料 の特性 2 構造材料 3 機能材料 4 仕上げ材料 5 ユニット材料	<p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築空間の内側の材料、床・壁・天井の仕上げ面に取り付けられる材料を理解しているか。 ・構造材料の断熱、遮音、気密などの各性能を理解しているか。 <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材の感覚的・視覚的条件や心理的効果が人にどのような影響を与えるかを考える。 	<p>中間考査</p> <p>この単元を自己評価してみよう A B C</p>
11				
12	4章 維持保全 とリフォーム	1 維持保全 2 維持保全の方法 3 住宅のリフォーム	<p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インテリアの維持保全の方法及びリフォームの方法について基礎的な内容を理解しているか。 ・リフォームの内容を理解しているか。 <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物の保全方式である予防保全・事後保全を理解できているか。 ・補修と増改築について様々な方法を理解する。 	<p>期末考査</p> <p>この単元を自己評価してみよう A B C</p>
1				<p>学年末考査</p> <p>この単元を自己評価してみよう A B C</p>
2				
3				

【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】は「技能」、【知】は「知識・理解」をあらわす。